

1 産廃特措法に基づく実施計画の概要

(1) 事業計画名

能代産業廃棄物処理センターに係る特定支障除去等事業実施計画

(2) 事業費（平成16年度～令和4年度）

金 4,244,977,016 円（うち国等支援額 1,414,981,000 円）

<内訳>

区分	費目	細目（工種）	事業費（円）
工事費	本工事費	土木工事	
		原位置浄化工事	260,714,860
		・揚水井戸設置工事	(169,169,740)
		・注水井戸設置工事	(14,534,640)
		・浸透トレンチ設置工事	(77,010,480)
		水処理施設改良工事	517,662,600
		促進酸化施設整備工事	382,138,560
		遮水壁設置工事	594,866,056
		遮水工事	474,082,669
		・遮水シート	(390,977,749)
		・モルタル吹付	(83,104,920)
		排水処理工事	282,784,885
	借上げ費及び補償費		1,153,815
工事費計			2,513,403,445
管理作業費	施設運転管理費		1,547,653,157
	モニタリング費		156,115,359
	監理費		14,559,868
	借上げ費及び補償費		2,434,496
管理作業費計			1,720,762,880
事務費	旅費及び庁費		10,810,691
事務費計			10,810,691
総事業費			4,244,977,016

(3) 事業内容

項目	内容
不法投棄の場所	秋田県能代市浅内字此掛沢ほか
特定産業廃棄物の対象量	約101万トン
生活環境保全上達成すべき目標	蒲の沢（南沢を含む。）や大館沢で滲出している地下水の1,4-ジオキサン等の「VOC（揮発性有機化合物）」について、令和2年度までに環境基準値を下回るレベルにする。
支障の除去等の方法	①汚水処理等の維持管理対策（汚染地下水の回収・処理、水処理施設の改良・高度化等） ②汚染拡散防止対策（遮水壁及び揚水井戸の設置等） ③場内雨水対策（処分場上面部及び法面部へのキャッピング、雨水排水路の整備等） ④処分場調査（非破壊調査、ボーリング調査、重機試掘調査等）

表1 事業実施のスケジュール

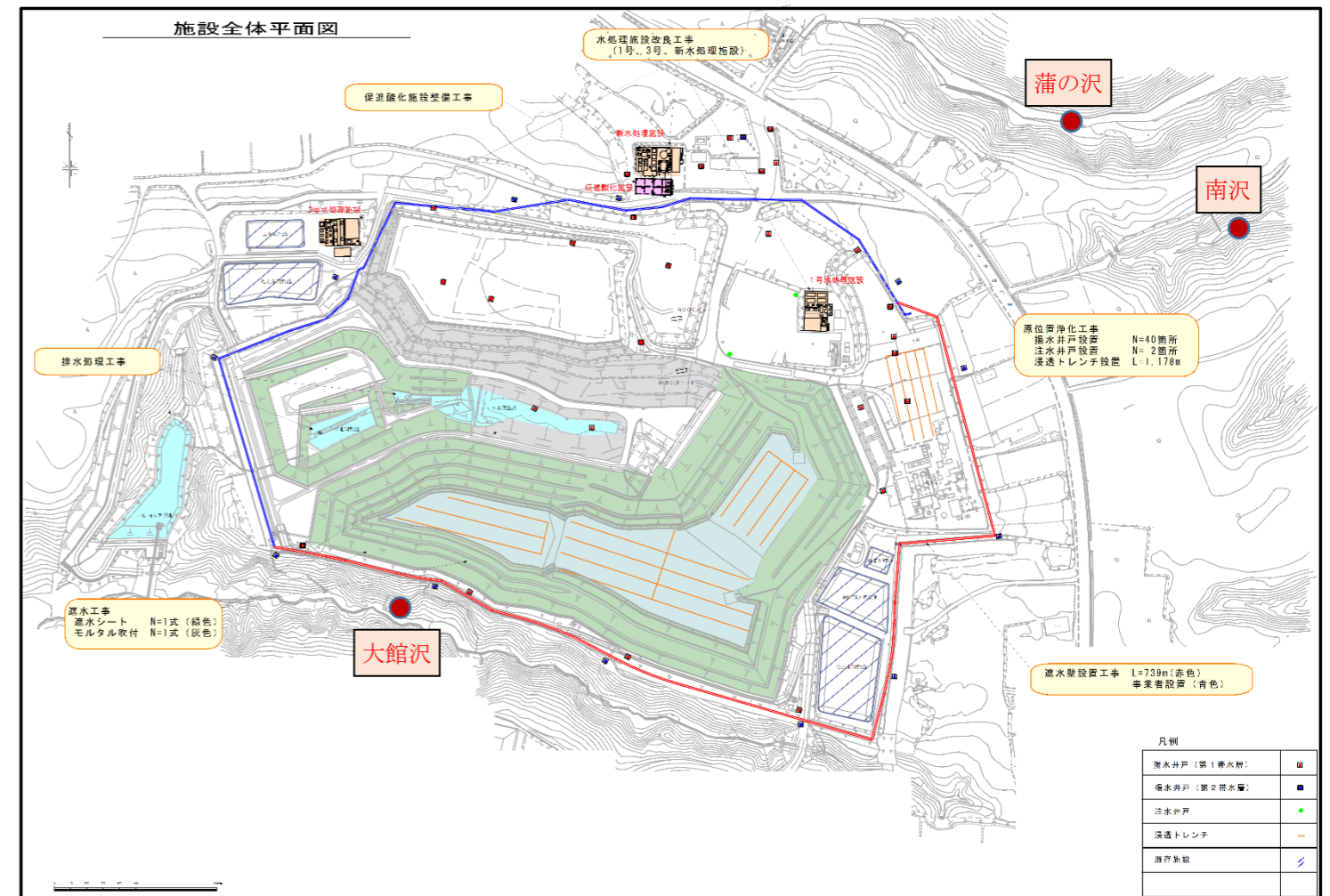
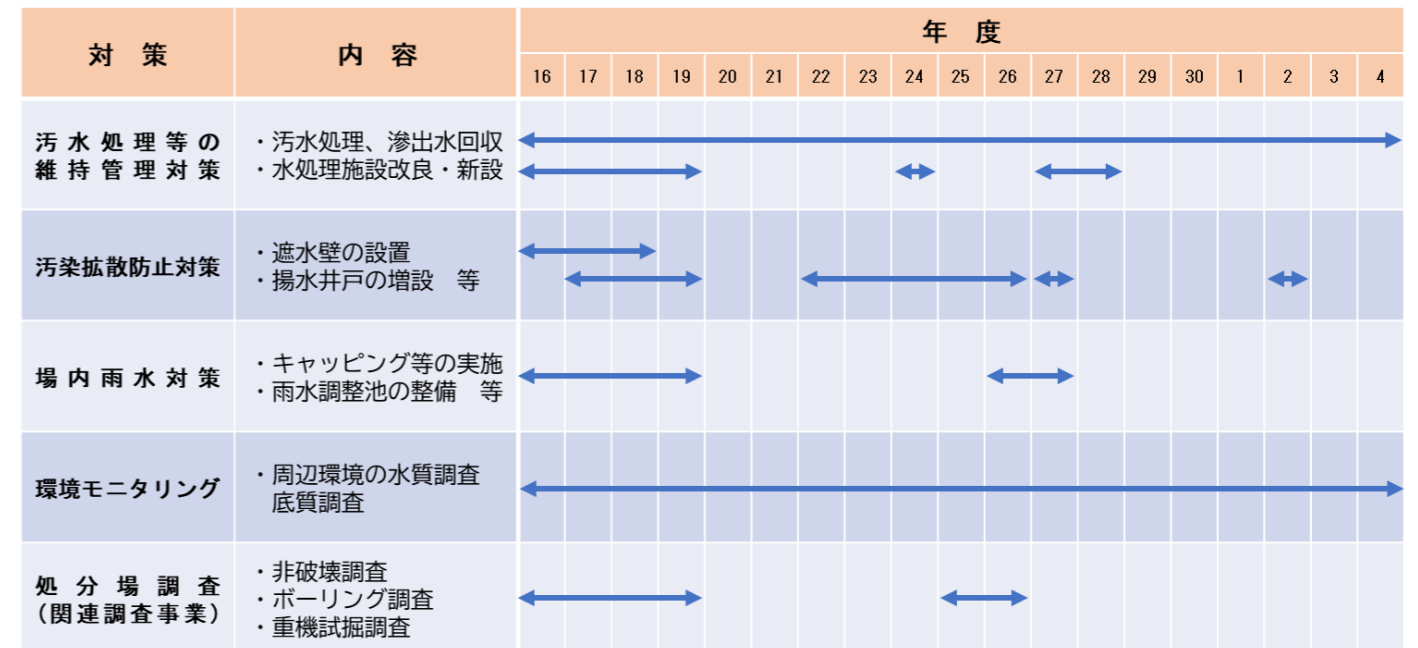


図1 施設の整備状況

(4) 再発防止策

項目	内容
監視指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理業者等に対する効果的な監視指導体制の構築 秋田県廃棄物関係監視指導実施要領の改正 不法投棄監視カメラによる監視
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員の各種研修会等への派遣 環境監視員研修会の開催
その他	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄ごみ撤去活動の実施（県民の意識啓発） 産業廃棄物排出事業者向け講習会の実施 日本郵便(株)との包括連携協定の締結

(5) 費用徴収等実績（～R4 年度末）

請求額（円）	徴収金額（円）	未納額（円）
5, 181, 760, 204	28, 527, 689	5, 153, 232, 515

※請求額のうち令和5年度請求分（令和4年度行政代執行実施分）については見込額で算定。

(6) 撤去した廃棄物量（県単独事業として実施）

廃棄物種類	撤去量（本）
廃油入りドラム缶	4, 333

2 生活環境保全上達成すべき目標及びその達成状況

- 実施計画では、「蒲の沢（南沢を含む。）や大館沢で滲出している地下水の1, 4-ジオキサン等の『VOC（揮発性有機化合物）』について、令和2年度までに環境基準値を下回るレベルにする。」ことを目標に設定した。
- 令和4年度末時点において、南沢及び大館沢滲出水については、汚水処理等の維持管理対策や汚染拡散防止対策などにより1, 4-ジオキサンを含むVOCは環境基準値以下となっている。
- 一方、蒲の沢滲出水については、1, 4-ジオキサンを除くVOCは環境基準値以下となっているものの、1, 4-ジオキサンのみ、僅かに環境基準値を超えて検出されているが、確実に減少傾向にある。

表2 目標の達成状況（沢別）

地点	項目	目標達成の評価	1, 4-ジオキサン濃度（R4年度） （環境基準値：0.05mg/L）
蒲の沢滲出水	VOC（1, 4-ジオキサン以外）	○	—
	1, 4-ジオキサン	×	0.092 mg/L
南沢滲出水	全てのVOC	○	0.026 mg/L
大館沢滲出水	全てのVOC	○	0.029 mg/L

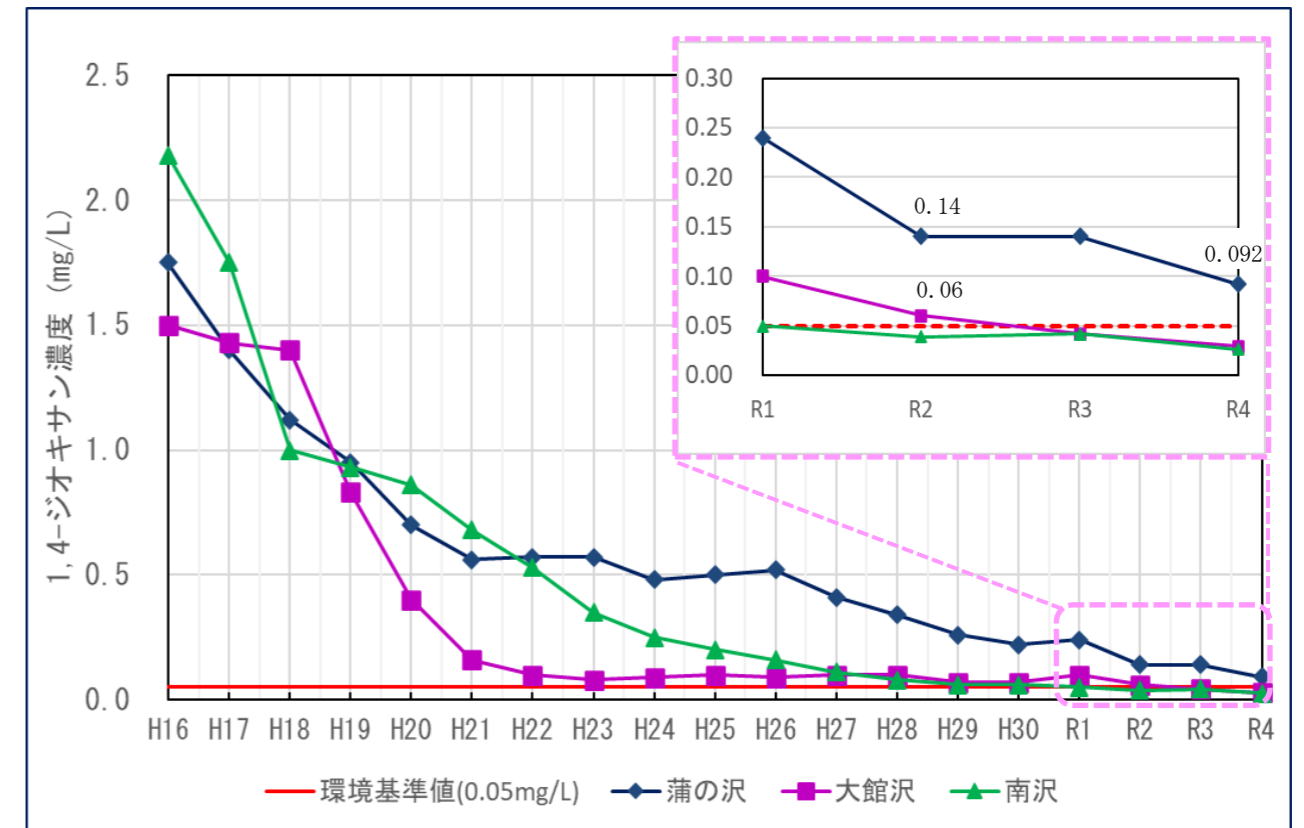


図2 蒲の沢、南沢及び大館沢滲出水中の1, 4-ジオキサン濃度の推移（年度平均値）

3 まとめ

- 蒲の沢、南沢及び大館沢のいずれの滲出水についても、汚水処理等の維持管理対策や汚染拡散防止対策などにより1, 4-ジオキサンを除くVOCは環境基準値以下となっており、目標を達成した。
- 南沢及び大館沢滲出水中の1, 4-ジオキサンについて、測定値にばらつきが見られるものの、年平均値で環境基準値を下回るレベルまで低減された。
- 蒲の沢滲出水中の1, 4-ジオキサンについて、僅かに環境基準値を超えて検出されており、目標達成には至らなかったが、令和2年度に地下水流向の上流に位置する遮水壁外の北側エリアに揚水井戸を2基設置し、汚染地下水の汲み上げ処理を強化するなどした結果、確実に減少傾向にある。
- 以上のことより、令和5年度以降もこれまで行ってきた対策を基本とした環境保全対策を継続し、蒲の沢、南沢及び大館沢において安定して環境基準値を達成するなど、生活環境保全上の支障又はそのおそれがない状態を維持する必要がある。

以上

<参考>

1 蒲の沢滲出水対策継続の必要性

- 蒲の沢滲出水の1, 4-ジオキサンは低下傾向を示しているものの、依然として環境基準値を超えて検出されている。
- 蒲の沢滲出水の1, 4-ジオキサン濃度が南沢、大館沢と比較して相対的に高いのは、蒲の沢の上流に位置する遮水壁外の北側エリアの汚染が解消されていないことが一因と考えられる。
- このため、蒲の沢滲出水対策として、滲出水の回収・処理に加え、遮水壁外の北側エリアの地下水の浄化を継続し、当該エリアの汚染の解消を図る必要がある。

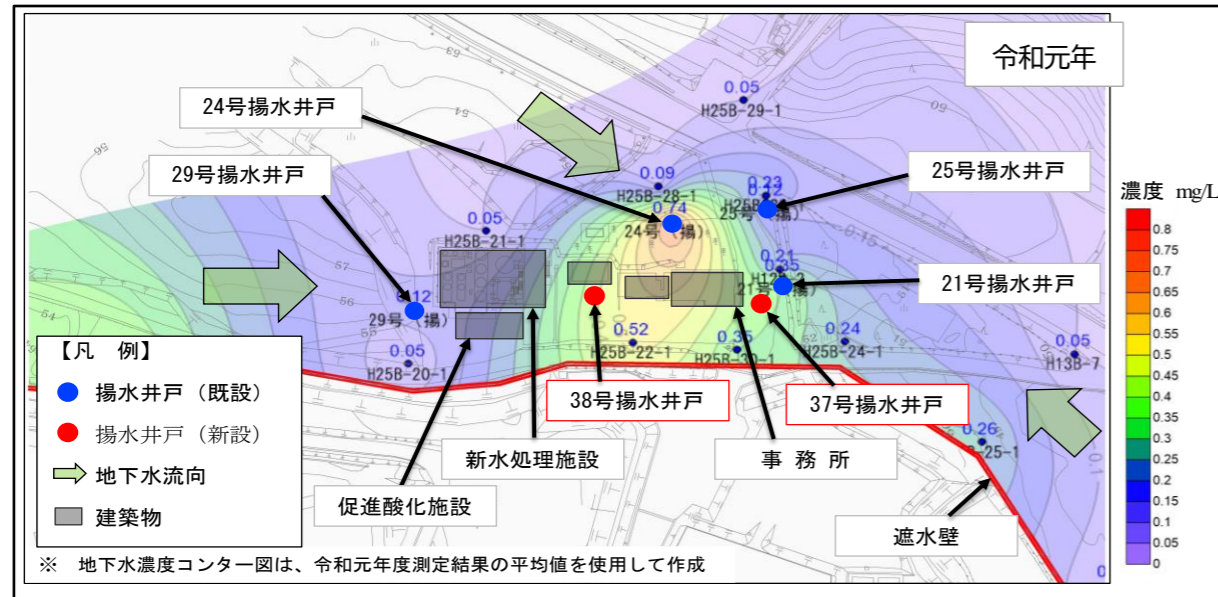


図3 北側エリア・遮水壁外側における地下水の1, 4-ジオキサン濃度コンター

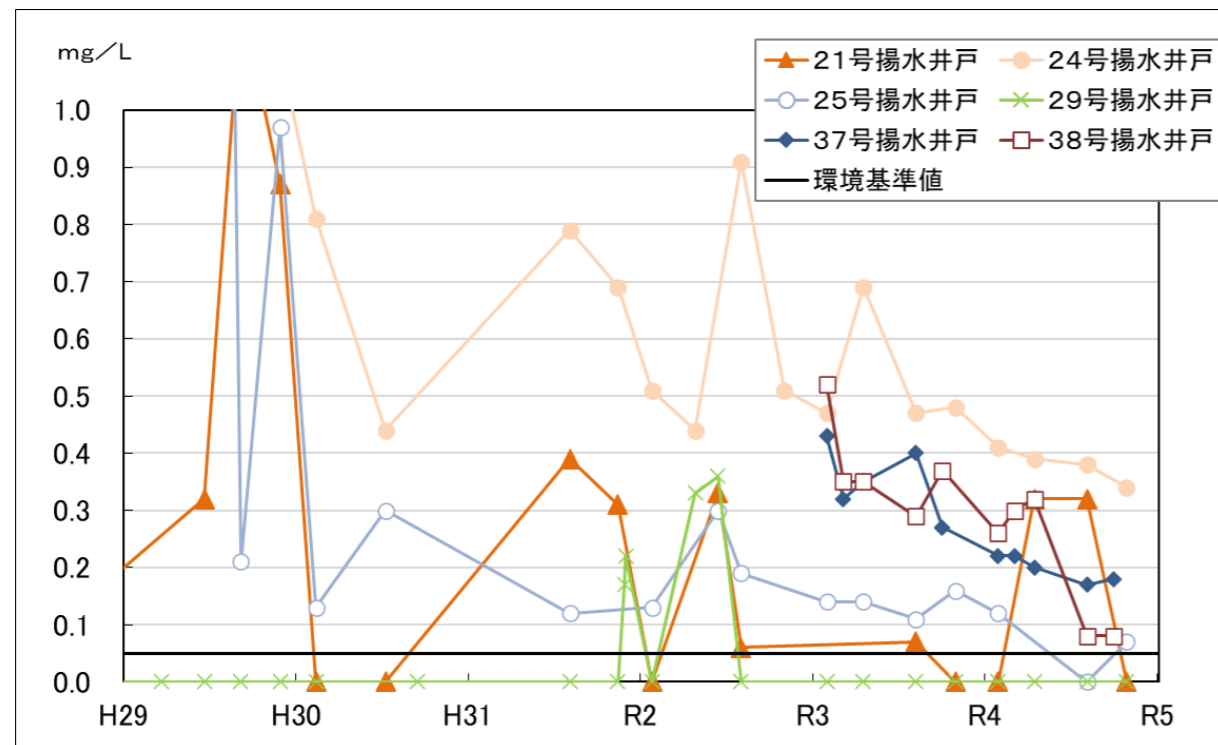


図4 北側エリア・遮水壁外側の揚水井戸における地下水の1, 4-ジオキサン濃度の経年変化

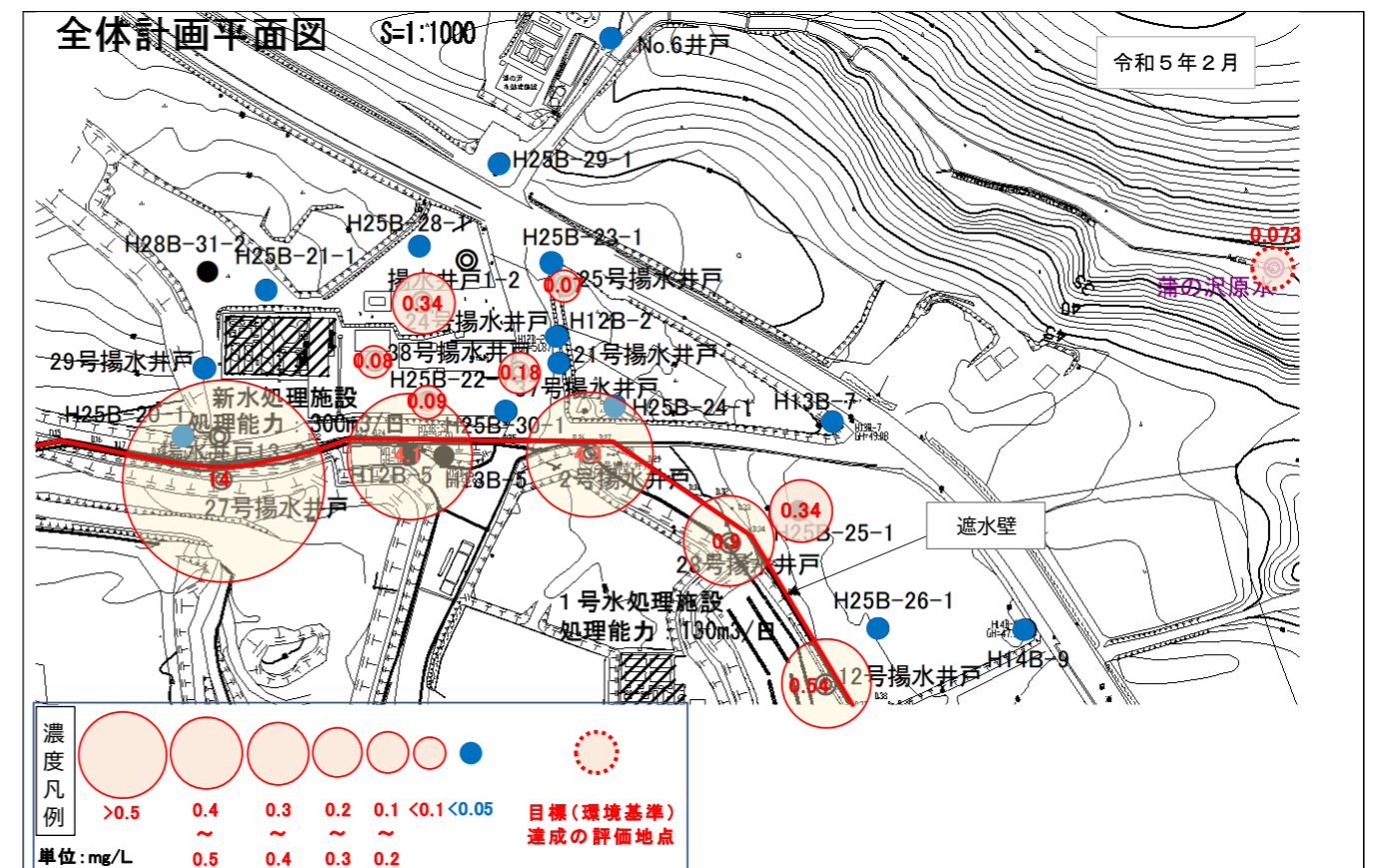
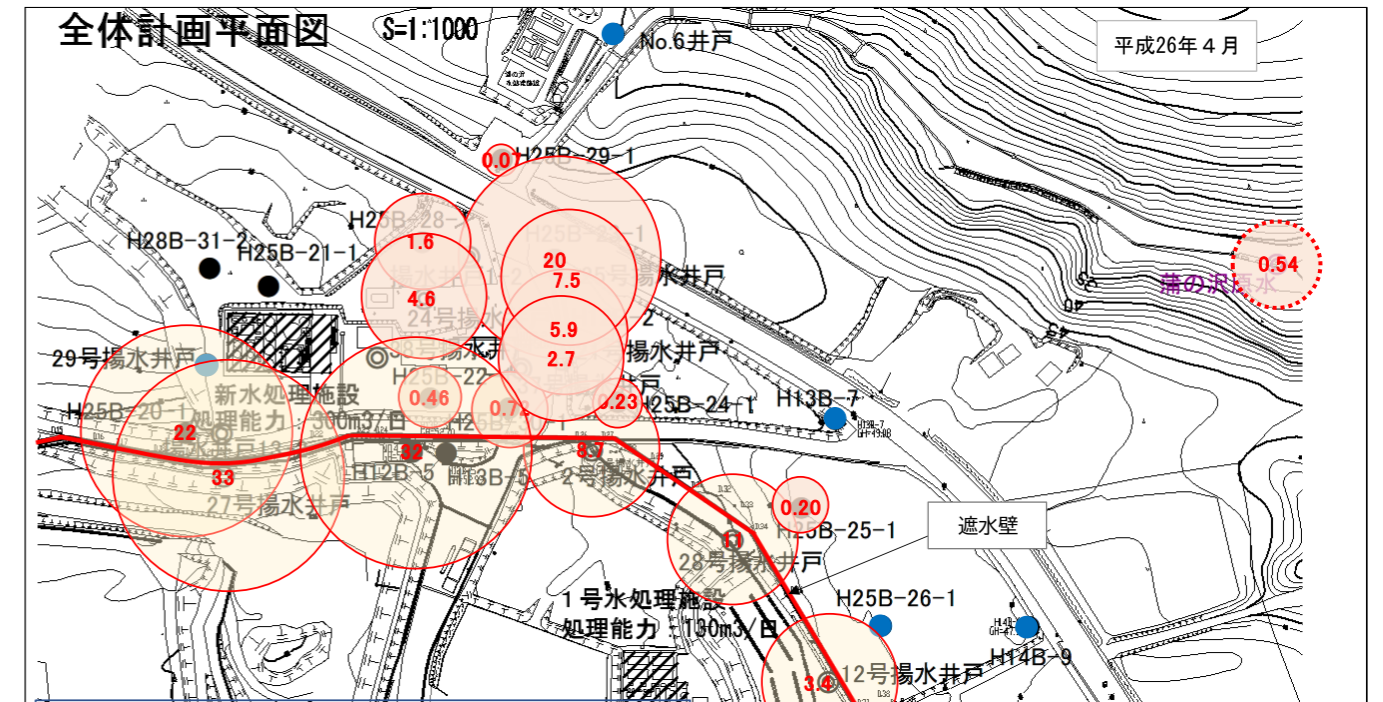


図5 北側エリア・遮水壁内外における地下水等の1, 4-ジオキサン濃度分布

2 令和5年度以降の環境保全対策について

- 蒲の沢滲出水対策として、滲出水の回収・処理に加え、遮水壁外の北側エリアの地下水の浄化を継続し、当該エリアの汚染の解消を図る。